

スタイリスト
百々千晴 特別ゲスト

阿波人形浄瑠璃公演 & トークイベント

2022年 **10月2日** (日)

開場 15:15 開始 15:30

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷
全席自由 (15時～整理券配布)

100席限定



令和4年度文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業補助金



プログラム

15:30～ トークイベント

「あわ文化—未来へ—今私たちができること
ファッション×サステナブルを通じて考える徳島の可能性」

(出演)
スタイリスト 百々千晴氏、阿波藍プロデューサー 永原レナ氏

15:50～ 特別公演「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」

(出演)
太夫 竹内登代、三味線 鶴澤友輔、人形座 青年座

チケット情報

前売1,000円、当日1,500円

※当日藍染の小物や服を身につけて来られた方は
ポストカードプレゼント

前売券予約 8月20日(土) 10:00 開始

申込方法

お電話またはメールにて下記情報を添えてお申込み下さい。
①お名前 ②ご住所 ③お電話番号 ④枚数
TEL:088-661-6057 Mail: info@hyoutanjima.tokushima.jp
特定非営利活動法人 阿波農村舞台の会

「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」



人形浄瑠璃「傾城阿波の鳴門」は、近松半二らの合作で、1698(元禄11)年に幕府も明らかにされないまま藩の政策上の犠牲となって処刑された庄屋、板東十郎兵衛の名を借りてつくられたお家騒動の物語。阿波の人物が登場し、親子の情愛をリアルに描いたわかりやすい作品であることから、現在徳島で最もポピュラーな演目となっている。阿波十郎兵衛屋敷では毎日定期公演で上演されている。

デジタル襖(ふすま) からくり



農村舞台では人形芝居の背景に襖に描かれた絵が使用される。「襖からくり」とは、襖が左右に開いたり、回転したり、滑車(かっしゃ)で上へ飛ばしたりなどダイナミックな転換方法で次々に絵柄を見せるもので、単独で上演されるほど人気を博した。今回の特別公演では、高解像度カメラで1枚1枚撮影した襖絵を大スクリーンに映し出し、プログラミングにより次々と転換していく様子を背景にして、人形浄瑠璃を上演する。